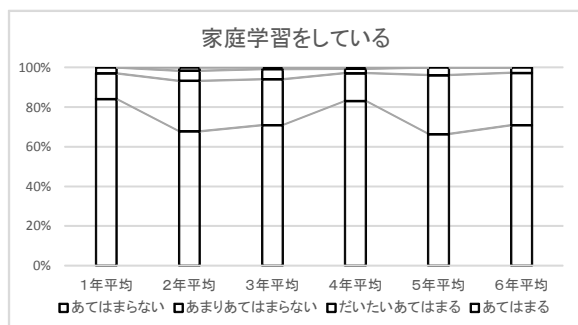


学校評価特集号NO4 もらもら 夢いっぱい

家庭学習

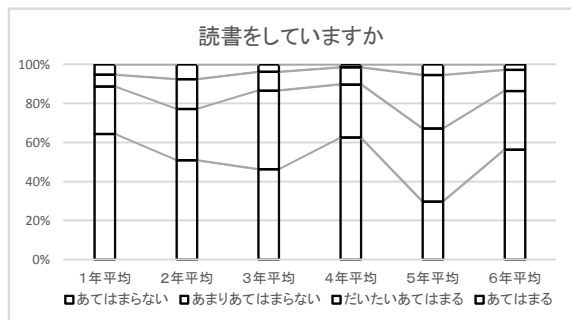
美味野

1 じゅぎょうのじ



リンクさせながら、学力を向上させることを目指しています。家庭学習については、下のような意見も寄せられていますが、まずは家庭学習の習慣をつけること、学習できる環境を作ることが大切です。自主学習については、担任がもう少し丁寧に指導すべき点もあるようですね。ただ、与えられた課題をするより、「自分で計画を立てて、課題を見つけて学習する方が学力が上がる」というデータもあります。日々の宿題対応で、保護者の皆さんも色々悩まれることもあるでしょうが、学校の思いもお伝えしたところです。

読書



上のグラフは、児童が「読書をしているかどうか」の問いに答えた結果を学年毎に示したものです。本校では、隔週金曜日に、全学級で読み聞かせをしてもらえらるというとても恵まれた環境にあります。

3月5日の授業参観日には、「保護者向けの絵本の貸し出し」を、教頭先生主催でスタートしました。さらに工夫を重ね、子どもたちが本に親しめるようにしていきたいものです。

美味野小家庭学習系統表

低学年のねらい：家庭での学習習慣の習得

宿題内容	確認
○音読 ○プリント(国語、算数) ○漢字(1年50マス・2年84マス) ○1年 20分 2年 30分	○家庭で丸つけ、やり直し。 ○忘れたら、翌日提出するかその日に学校でする。

中学年のねらい：家庭での学習習慣の習得と自主学習の準備

宿題内容	確認
○音読 ○国語、算数のドリル ○日記 ○プリント ○自主学習(漢字、計算など) ○3年 40分 4年 50分	○自分で丸つけ、やり直しをしたあと提出。 ○忘れたら、休み時間、昼休み、放課後にする。

高学年のねらい：自主学習の定着と中学校への準備

宿題内容	確認
○音読 ○日記 ○漢字練習 ○自主学習 ○必要に応じてプリント ○5年 60分 6年 70分	○登校後、提出。 ○忘れたら、休み時間、昼休み、放課後にする。 ○内容に応じてやり直し。

美味野小には、「学びのたつじん」(左上)といって、授業前や授業中の約束をまとめたものがあり、全学級で取り組んでいます。また、「家庭学習の手引き」も学年の系統(右上)を踏まえ作成し、各家庭に配付しています。

学校では、授業はもちろんのこと、家庭学習の習慣を身に付けさせ、授業とリンクさせながら、学力を向上させることを目指しています。家庭学習については、下のような意見も寄せられていますが、まずは家庭学習の習慣をつけること、学習できる環境を作ることが大切です。自主学習については、担任がもう少し丁寧に指導すべき点もあるようですね。ただ、与えられた課題をするより、「自分で計画を立てて、課題を見つけて学習する方が学力が上がる」というデータもあります。日々の宿題対応で、保護者の皆さんも色々悩まれることもあるでしょうが、学校の思いもお伝えしたところです。

保護者の声

- 宿題が毎日多すぎてかわいそうだなあとと思う時があります。
- 宿題に時間がかかってしまい夜寝るのが遅くなってしまう。毎日睡眠不足になる。習い事をしている子どもも多いと思うのでそのことを配慮した宿題の量にしてほしい。
- 細かいノートチェックや個別指導をしていただいても感謝しています。
- ノー宿題デーを設けてほしい。
- 下校時間と宿題の量の割合をも少し考えてもらえたら嬉しいです。
- 自学ではなく計算ドリル□ページ、漢字スキル□ページという課題がほしかったです。
- 自学に対してずっと疑問を感じています。～後略～

美味野小だよ



NO.18
H30.3.14
大津町立
美味野小学校
文責：草場ルミ子

校長室のさかき

先日、「学力の社会学」というテーマで講演を聴きました。その中で「保護者の意識や関与と児童生徒の学力」を分析した話がありました。

「家庭における読書活動、生活習慣に関する働きかけ、親子間のコミュニケーション、親子で行う文化活動、子どもの学力にプラスの影響がある。特に家庭における読書活動が、子どもの学力に最も強い影響力を及ぼす。その影響力は、中学校に比べて、小学校で大きい。」というものです。「規則的な生活習慣を整え、文字に親しむように促す姿勢、知的な好奇心を高めるような働きかけがよい。」とも。

皆さん、「読み聞かせ」や「早寝・早起き・朝ご飯」に取り組んでもう一度振り返ってみませんか？

職員の声



★お話をきいて
学習しましょう



大津市立中ロック平成二十八年 九月



- 一 テレビを消して、集中して勉強する。
- 二 時間を決めて勉強し、次の日の準備まですませる。
- 三 一日に七十分は、勉強をする。

六年生 家庭学習 三つの約束

2 じゅぎょう中

じゅぎょうの 始まり

- チャイムのあいさつで
始まりのあいさつを
しよう。



よいしせい

- いすにふかくこしかけ、
足をゆかにつけよう。
- えんぴつを正しく
もとう。



発表するとき

- 「はいはい一回、うでが耳に
つくように、まっすぐ手をあ
げよう。
- 名前をよべたら、「はい、
とへんじしよう。
- みんな「発表します。」
「読みます。」などの声を
かけてから話そう。

- ていねいなことばで、
「～です。」「～ます。」まで
話そう。

- その場にあった大きさの声
で話そう。

- 自分の考えをすす
んで発表しよう。



聞くとき

- 発表する人から声がか
かったら、「はい。」と
へんじしよう。
- 発表する人に
体を向けて聞こう。



ノートの使い方

- はじめに日づけとめあ
てを書こう。
- ていねいな字で書こう。
- じょうぎを使おう。



